

【ジャブジャブマネー(QE)を続ける日銀と
トランプ大統領再選の関係性について考える！】
⇒編集後記で(15ページあたりから)

【日本のQE(アベノミクス)はアメリカ債券金融市場の
てこ入れのため】
⇒編集後記2(31ページあたりから)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

狂人レベルの「熱い億トレーダー」
野田さん×ゆうの対談音声1本目を
公開します！！

直リンクの音声です！(音出ます)

⇒ http://yuhfx1.com/onsei/taidan/nodashiki_fx1.mp3

(スマートフォンでも聞けます♪)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです！

読者さん、こんにちは。

さてさて、今週は何かと考えさせられる週でしたが

この前2018年7月31日に日銀が
世界各国がジャブジャブマネー QE を
縮小する中、ジャブジャブマネー QE を継続することを発表しました。

私の長いメルマガ読者さんは
もう過去 QE = 金融緩和 = ジャブジャブマネー
の意味が分かってると思いますから

説明不要かもしれませんが、改めて
これはどういう意味なのか？について考えて行きましょう！

とりあえず今度のアメリカ大統領選挙では
トランプ大統領の再選が固くなったとも言えるかなと。

編集後記で！



狂人レベルの「熱い億トレーダー」
野田さん×ゆうの対談音声1本目を公開します！！



さて、私は今マレーシアに住みながら

韓国にいたりするのですが

以前に日本にいるときに

今メルマガで扱っている「無料 FX 道場」を用意してくれた

野田さんと対談音声を録ったんですね。

それでこの野田さんなんですけど

普段から数十億円をファンド運用もされてて

この前は生徒さんに

「100万円から増やしたいのですがイメージ湧かないです」

って言われて

「じゃあ俺が見せてやるよ」って言って去年とか100万円を

4000万円に

増やしたちょっとトレード技術がすごいというか

それを乗り越えてある意味「イっちゃってる」人です。

そんな野田さんですが、かなり印象として真面目な感じを持ってる方も

多いと思うのですが普段話すとこれ、もう「めちゃくちゃ熱い！！」

んです。

だから今回の案件もやりたいとなったんだけど

その対談音声を今日は公開しますね！

最初にイントロあって開始一分くらいから

狂人レベル億トレーダー野田さんとの対談が始まります！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの対談音声1本目を

ついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ http://yuhfx1.com/onsei/taidan/nodashiki_fx1.mp3

（スマートフォンでも聞けます♪）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

さて、それで今回野田さんとは色々話していますが
最初は結構もう井戸端会議の延長線上みたいな話になってるけど
税金の話からスタートしておりますね。

この野田さんですが、まあ以前税金で1億円の半分くらい一気にとられたとか
そういう話がされておりますが、

まあこの辺の税金の苦しみというのは今若くして稼いでる日本人
共通の苦しみとしてあるのだ、ということですね。

こういうかなりのぶっちゃけトークもあるので
「稼いでる人のリアル」がわかって面白いと思います。

それで・・・たぶん無料FX道場なんかを今流しておりますが
この道場、野田さんがすごい真面目にされていて、結構堅い感じの人かな？
と勘違いしてる人も多いと思うんだけど

実は野田さん、すごい柔らかい感性の方でしてとにかく
「熱く語る」人
なんです。

だから生徒さんなんかもその野田さんの人柄が好きだという人も
多いわけだけど

とにかく「熱い」んですね。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの対談音声1本目を

ついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ http://yuhfx1.com/onsei/taidan/nodashiki_fx1.mp3

（スマートフォンでも聞けます♪）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それで・・・今回の音声でも出てくるけど

なんでじゃあお金には困っていないのにこうやって表にちょっと出てくれて

指導にあたってくれてるのか？？

というとそれは理由があって、

やはり人生のやり甲斐とか、あとは生きている実感ですよ、

「そういうのがなければ人生つまらないでしょ！

何か自分がいること、その意味というかそういうものを残したい」

ってことで

だから野田さんは今回表に出てそれで講師として

人を育てるということをされているわけです。

なんというか私のメルマガで野田さんのトレンドラインの分析とか

トレンドフォローのやり方とか相当レベルの高い動画も流してるけど

例えばこういうテクニック動画も流しているけど

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

■ ついに野田式無料 FX 道場6時限目のヤバい動画と PDF を公開します！
(10万円の価値あるかも！)

「億り人」FXトレーダーが教える

「【基礎知識・分析】相場の波に乗るためのトレンドフォローの真の考え方」とは？

⇒ http://fxdojo.online/refree/kiso_truth/

PDF 資料はこちら！

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/6045160/6/>

【PASS:Follow3】

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それ以上に、野田さんの人生哲学とかそういうところを

読者さんに学んでいただければうれしいな！！

とか思っまして、

それでその人生哲学の上に「FX」ってのがあってのを

こう知っていただければうれしいですね。

それでこの音声かなり面白いと思うんだけど

野田さんなんかはもうトレードで言うと神レベルのスキル持っていて

今回は「狂人レベルの億トレーダー」という言い方を私と事務局の社長は

してるんだけど

まあ結構狂人レベルの成績を出していて

塾生の前で100万円を4000万円に増やして

「野田さんやべーよ」みたいに塾生の間でなってるんですけど

そしてその塾生も結構似た数字出す人がどんどん出てきてるわけですが

ただそんなすさまじい実力のトレーダーもこれ奥さんには

頭あがらなくて、住むところは海外に野田さんが住みたくても

奥さんのほうが実権ある、わけですね。

これはもうどの億トレーダーも一緒に、また別の億トレーダーがいて

その人も神レベルだけど、その人が奥さんにひっぱたかれてる姿も私は

時々見るわけで

これどんなにすごい億トレーダーでも奥さんには頭あがらない

というか、そういうのが生活感としても面白いと私は話していて思いました。

だからすごい野田さんってのは機械的なトレードの分析方法を教えるけど

「THE 人間」って感じで、温かみのある、そして熱さのある人でもあるんだけど

その人間的魅力ってのがやはり億トレーダーのその根本にあるってことでして

それが音声で出てるのでオモロイと思います！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの対談音声1本目を

ついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ http://yuhfx1.com/onsei/taidan/nodashiki_fx1.mp3

（スマートフォンでも聞けます♪）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それで野田さんがおっしゃってるけど

「ただトレードだけ続けていて、それでお金だけはすごい稼いで

消費型生活していて・・・

それだけでは満たされないと俺は思う」

みたいなことをおっしゃっていて、この深いところを

多くの人に考えてほしいな！と思うわけですね。

人間って結局死ぬわけで、私も読者の全員もこれたぶん100年したら

まあ海の藻屑になるわけですが、とか書くといやな感じだけど、

まあ実際そうなんだけど

人生ってはかないものですよね。この人生の儚さってのが文学でも

テーマになったりしますよね。

んで「じゃあなんで生きてるのか」みたいなところで

野田さんの場合はもうお金は十分稼げて一生そのまま何もしないで

暮らせるくらいは稼いでらっしゃるけど、

それだけじゃつまらない！何か精神的な充実というのを考えないといけない

ということでそれで今市場に、人々から需要が多いので

教えるということも熱心にされているんですね。

それで野田さんが言っていて覚えているのが

これをしだしてから

「自分も教えることでうまくなってさらに向上できる」

ということもおっしゃっていました。

だからそういうところで野田さんは教えるということも

されているわけですね。

この前「トレードピラミッド」の話をしたと思いますけど

稼ぐトレーダーっていうのはやはり

1大きな志



2仕事の姿勢



3資金管理



4手法



の順序でしっかりしているのだ、という話を書きましたが

上の■、の数が重要でそれがピラミッド形式なので

トレードピラミッドというわけですけど

野田さんの場合、このトレードピラミッドの大きな志の部分が
すごい強い方で、それが彼の尋常ならぬ研究心、および
トレード技術向上心を生み出しているというのに気づいていただければ
これこの音声すごい読者さんにとっても有益になると思います！

なので「無料 FX 道場」では結構真面目に教えてくれていて
堅いイメージを持つ人もいらっしゃるかもしれないけど

実際はもう「THE 人間」という感じで生々しい心の温かさを持つてる
人物が野田というトレーダーでして

そしてさらにその奥底に「熱さ」があるんですね。

それが、実は私が彼の案件を読者さんに知っていただきたいと
おもった 一番の要因でもあるわけですね！！！！

ということで是非この音声、億トレーダーの生の感じを知るために
すごい希少性が高いと思いますので、是非聞いてみてください！

大体40分くらいだから、寝る前でも出勤前の電車の中でも
車のシガーソケットやBluetoothウースににスマホつないで
音声聞くでも色々な聞き方でいいので

是非読者さんがお時間あるときに何度か聞いてみてください！

では！

ゆう

追伸・・・ちなみにこういう一流の人間の言葉とか考え方を

音声なんかで沢山聞くつてのを継続すると

人間って稼げるようになってくるわけですが

なんで??

っていうといわゆる「思考の型」が身につくからなんですね。

思考の型を英語でかっこよくいうとマインドセットという単語に

なりますが

思考の型でよいです。

この思考の型が身につくと、それを基準として

その人間は行動できるんで、当然その人と近似した結果だったり

もしくはそれ以上の結果出せるように変わってくるんですね。

だから脳みその構造を変えていくために音声を聞くとか

文章を読むって有効で

そういう継続で人生って読者さんの思ったとおり、

もしくはそれに近似する形でデザインできる、というのが

本質ですんで、ぜひ音声なんかもそのために活用してみてください！

テレビや新聞やネット検索していても収入あがりませんが

この音声とか聞きまくれば収入あがる確率は確実に上がると

私は考えております！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

狂人レベル億トレーダー野田さん×ゆうの対談音声1本目を

ついに公開！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ http://yuhfx1.com/onsei/taidan/nodashiki_fx1.mp3

（スマートフォンでも聞けます♪）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====編集後記=====

さてさてこの前ですが2018年7月31日、火曜日に

結構重要な発言がありましたね～

日銀が政策決定会合でジャブジャブマネーで

不正に株価なり、アメリカの債券市場を支えていく

QEを今後も長期にわたって続けていくということです。

ちなみに、最近は株価なんかもなんだかんだ高値水準ですから

含み益持ってる方も多いと思いますが

まあなんとも、考えさせられますよね。

私たち投資家の含み益が増えていても

日本経済っていうのは

実際は貧困化しているわけでした

それを隠すように株価だけは上昇すると。

ちなみに私なんかは株なんかも世界中の株やってるので

感覚的に分かるのですが

当然日銀がQEで買い支える資金の出元は結局の話

全部日本人の税金ですから

結局株の含み益なんかは日本人が払ってきた

税金が含み益に転換されたものである

なんてのはもう数年株なんかもやっていて

感じますよね。

本来の経済成長があって、そこで企業の価値が

上がってるわけではないですから

やっぱり問題がある構造だな、とは思います。

それで今回の7月31日の政策会合で日銀は

QE=ジャブジャブマネーを今後も長期で続けていくと

決めたわけですが

この本当の意味は??

ということになるのですが、これははっきりいうと

「次回の大統領選挙でトランプが再選を果たす2020年までは

QEを続けて、そのQEの資金で日本だけじゃなくて

アメリカの債権高(金利安)や株高を演出、維持しつづけて

アメリカ中心の債権金融システムの破綻を先送りして

「トランプ大統領の再選を応援します」

っていうメッセージ性がありますよね。

これは田中宇先生が分析されていましたが、まさに

その通りだろうと私は見ておりました。

ちなみに私はリバタリアン思想の人間が支持する

トランプを支持しておりますから

だからこの日銀のQE継続は

トランプ再選につながりますから、

なんというか複雑な心境で見ておりましたが

とりあえず日本はこれからも対米従属を続けて

アメリカの金融システム、債券市場を買い支えるということ

を決めたということですね。

それでこのタイミングで日銀が

「アメリカの債券市場を買い支える

QEを長期化させますよ～」

と表明したのはすごい重要な意味がありますね。

本来日銀の政策発表は10月といわれてたけど

今回7月末の段階でそれを表明したのは

間違いなく11月のアメリカの中間選挙の絡みで

そこで手打ちがあったのだらうと言う話です。

これは、私はトランプを支持してる人間で

2016年の大統領選挙でもトランプが勝利するシナリオを

扱っていた人間なので

トランプの汚さも良くわかってるんですけど

トランプとしてはまさに株高で人気維持しているわけですから

株がここで崩れてしまっただけでは困るというのではありません

ここで日銀がある意味トランプ大統領に協力を

表明した格好ですよ。

日銀の助力で

中間選挙でトランプの共和党が議会の上下院ともに

勝利して多数派維持できるようになると。

これはマスコミは言わないですがやはりそういう動きであろう
と思われませんか。

そこでトランプとしてはそのお礼、返礼として
南北朝鮮会談後に在韓米軍撤退の方向性を作っておりましたが

その後、在日米軍撤退の議論に入るところを

とりあえず「猶予」をもたせてあげて、日本の官僚たちは
在日米軍に出てってもらおうと自分らの権力の基盤が壊れますから

在日米軍に出てってほしくないんですけど

トランプは「日銀が支えてくれるなら、

在日米軍の駐留継続はとりあえず文句言わないよ」

ということになりそうです。

おそらくそういう類のギブアンドテイクの関係性が

米日で発生してでの日銀の QE 継続ってことですよ〜

ただこれは日本からしたら結構恐ろしい話でもあって

2020年代前半には QE ジャブジャブマネーの継続が

困難になってくる可能性は大いに考えられまして

そこで国債金利の上昇や株価の大幅下落や

今まで隠していた不況が一気に表に出てくる

ということは考えられまして、

だからオリンピック後くらいですよ、この後

数年が危険になる可能性ははらんでくるってことです。

ちなみに短期金利なんかは自分らでコントロールできますが

長期金利なんかはコントロールできませんからね、

だから今回の日銀のQEの長い継続というのは

官僚たちの利権である在日米軍駐留をしばらく伸ばせる

という反面、

その官僚たち(およびその下の公務員)

が利権を得る代わりに

その経済破綻で民衆が2020年代前半あたりに

大きな被害を被る可能性が出てきたという話にも

なります。

日銀が発表した「QE＝金融緩和＝ジャブジャブマネー
の運営をもっと今までより柔軟にやる」

という意味は

これはもう QE の管理が難しくなって

~~~~~  
国債の長期金利が上がってしまう場合、

~~~~~  
それをその時容認するしかないよね、っていう意味なんですね。
~~~~~

ちなみにこの日銀の政策会合の今回の内容は

日本の銀行の経営者や幹部たちはビビったと思います。

ちなみにこの国債の長期金利上昇の意味が

分からない人が日本では多いわけですが

それはすなわち日銀が広義の経済破綻なりデフォルトを

織り込んだ上で発言してるってことが

なんとなしに経済学の知識ある人は

分かってしまうわけですね。

だからですね、やはり金＝ゴールドはこれから

下落したり安くなったら長期保有で投資対象として

考えるのは大変有効であるってことにもなります。

それで私のメルマガでは2012年あたりの  
安倍さんになってからジャブジャブマネーを始めましたから

「ということはこれから不景気の中で物価だけが上昇する  
スタグフレーションになっていく」

っていう言論を主に2013年あたりから扱ってきたのですが

そして当時ボコボコに叩かれたものですが

今は民間経済で言えば

不景気の中で物価が上昇してきている

というスタグフレーションが出てきてるのかななんて思います。

物価は上がっていないと言われてますが

これはおそらく日本の台所の家計を見ている主婦からしたら

本当なの？って話でもあると思います。

この辺の複雑性を理解するにはどうしても経済学の知識が

必要ですよ。

それでアベノミクスの狙いとかってのは以前にメルマガで  
すごい頻度で扱ってますが

日米金利差を2%以上にするためでしたよね。

本来のアベノミクス＝日本の QE ジャブジャブマネーってのは  
好景気策ではありませんで

あくまでもリーマンショックで崩壊したアメリカの債券市場を  
救うための策なんですね。

日本のマスコミってここがタブーだから報道しないんです。

ちなみに記者たちはその辺無知だからそもそも記事にできない。

ここで米日金利差を2%以上にして、それで

日本⇒アメリカへの国富移転が起こるのですけど

それを官僚たちが狙ったのがアベノミクスですよ。

ちなみに安倍首相なんかは実際の予算の決裁権限がない

というのを私は友人の自民幹部とつながる官邸の仕事してる

起業家にも聞いておりますから

実際は安倍首相というよりは実権を持っているのは

やはり日本では官僚です。

それでこの日米金利差2%前後にして

日本からアメリカに国富移転させるのがアベノミクスの目的である

ってというのは

この視点って投資やってる人からしたら

米日金利差とか見て仕掛けたら

利益率上がりまくるのを経験したりするから

明確なのに

なぜかマスコミでは一切登場しない視点です。

なぜか？というとそんな上記の内容を

日本国民みんなに報道したら問題になるからですよ。

例えば

「アベノミクスは景気浮揚策ではなくて

実際はアメリカの債券市場の米国債市場やジャンク債市場

を買い支えるためのものです～その資金の流れを作るための

ものです～」

なんて報道したらさすがにみんな怒っちゃいますから



だから一応表向きとしては

「インフレになったら景気が回復するという考え方が  
あってインフレターゲット論とかあるんですよ～  
だからジャブジャブマネーすると景気が良くなるんです～」

とやったわけですね。

そこでリフレ派という変なのが出てきた。

んが、重要なのは

「金融政策で景気が好転するわけではない」

わけで

あくまで経済学の基礎は

「好景気がまずあって、そしてその結果として  
インフレが発生するから、そのインフレが過度にならないように  
中央銀行があって

中銀は ドードーと暴れるインフレという馬が  
暴走しないように引き締めるくらいしかできない」

わけです。

ここで一応「金融で景気浮上できます」と言ったのが  
アベノミクスで情報弱者の人たちは2013年みんな  
信じたわけで

それこそ日本の右翼も左翼もみんな騙されたのですけどね

そこで私なんかはメルマガで当時日本の右翼も左翼も  
両方間違ってると思ひまして

それを2013年くらいに

頻繁に書いていたら すごい攻撃されたのだけど

けど、やはり今の日本の状況見ると

貧困状態がひどくなっています。

まだ数字は粉飾してますけども。

それで日本からアメリカへの国富移転のために

実際はアベノミクスがあったんですけど

これは言えないから、

「インフレになったら景気が回復するのです～」という

原因と結果が逆の理論が 世の中にプロパガンダされたのですが

それを信じてる情報弱者がいまだ大多数という状況です。

実際は好景気という原因があって

インフレという結果が起こるだけであって

それはアジアに住んでると毎日のように

好景気を元としたインフレが起こってるから

良くわかるんですけど

じゃあインフレと言う原因があって

結果として好景気になるなんて

因果関係は経済学で証明されてませんし

もしそうならば多くの国が通貨をジャブジャブ発行して

好景気にしたいはずですよ。が、しない。

この素朴な疑問をなぜみな持たないのだろうか？と

私は当時不思議だったものです。

しかしそれを国民の大多数が2013年に信じ込んだのが

日本であって、

今でも覚えているけど私が海外移住を決めたのも

この辺りでした。

それで現在2018年となりましたが

日銀は QE を引き締めるどころか、

QE を継続することを決めたわけですが

そこでアメリカのトランプ大統領を支援するために

まさに日本⇒アメリカへの国富移転を行って

そしてアメリカの債権高、株高の維持に貢献する

というのを日銀は決めたということですよね。

ここでトランプ大統領は好景気演出をできるわけでした

それは 為替が仮にドル高になってアメリカの輸出産業に

打撃があるよりもマシとトランプは考えたのだなっただけ

この日銀政策会合からは読み取れるわけです。

それで簡単に言うと、日本がジャブジャブマネーの QE を

やりますと

日本だけじゃなくてアメリカの債券市場とかに

日本のお金が出る構図があるんですけど

ここでアメリカの債券市場の金利が下がり、

債券価格が上がる

という構図が維持されるわけですね。

特にリーマンショック時なんかは多くの人は

株式市場の崩壊に注目していたけど

あくまで市場の王様は債券市場であって

株式や為替はその次ですから

やはりリーマンショックのとき

債券市場が崩れたのが大きかったわけです。

それでその後アメリカでQEがあって

その次日本でアベノミクスという名前のQEがあって

その次欧州でドラギのドラギノミクスというQEがあって

アメリカの債券市場を買い支えて延命してるのが

現在の状態なんですね。

この米国債市場とかジャンク債や社債市場が

崩壊しますと

それは第2のリーマンショックとなるわけですが

それを日銀が頑張って2020年代前半までは

買い支えるように努力します、と表明したに等しいわけですね。

欧州は既にもうこのアメリカの債券市場を買い支える構図から  
離脱しはじめておりますが

日本だけは、「最後まで」アメリカの債券市場崩壊まで  
ついていくと決めたというのが

今回の7月31日の日銀政策決定会合の隠れた意味です。

この辺りが見えてる投資家なんかは  
もう最近では海外に移住しはじめてる状況ですが、

上記のような視点というのは日本ではタブーになってるので  
報道されませんが

おそらく上記の視点が大衆に知られるのが  
2020年代前半の「その時」かもしれません。

=====編集後記2=====

それで日本のQE=ジャブジャブマネー(アベノミクス)とは

何か？

を改めて考えて生きたいわけですが

この辺はやはり株なんかをやってる人はみんな知ってること

ではありますが復習で

日本のQE ってのは円を増刷して日本国債や日本株ETFなんかの

金融商品を買って

それでカネが余ってる状況を作り出して金利をゼロ前後に

下げておく政策ですよ。

それでここで上記の編集後記1で書いたように

米日金利差が2%とかそれ以上に開きますから

そこで 日本⇒アメリカへの資金移転が起こるとというのが

実際の目的であるというのは投資家には知られてます。

けど一応それはマスコミからしたらいえませんから

表向きは

「デフレをなくすための策」としているわけですね。

ちなみに、ここで共産党なんかが自民党と

経済政策では裏で協調して プロレス的な戦いをしてる

ってのも経済学学んでる人たちは見破ってるけども

彼らが好きな言葉が「デフレスパイラル」って言葉です。

もしくはデフレ不況。

たぶん日本人なら聞いた事ある言葉です。

要するにデフレという原因があるから不況なのだ、という

主張を日本の左派はしてます。

けどそんな因果関係は経済学で証明されていませんよね。

不況になったら(原因)デフレという現象(結果)は

出るのは確認できてますが

その逆は証明されていないと。

これはだから本来は好景気(原因)があって

インフレ(結果)が起こるってのは確認されてるけど



インフレ(原因)があって好景気(結果)が起こるってのは  
証明されていない

のと同意です。

だから本当は日本の左派自体が右派のジャブジャブマネーの  
論理を肯定させるために

上記の因果関係を逆転させた方程式を

ちょっと頭の良い層が揃ってる左派の知識人に洗脳してる  
構図なんですけど

すなわちデフレ不況があると信じ込んでる人は  
アベノミクスのジャブジャブマネーには論理的に反論できなく  
なるわけです。

日本の言論の弱いところってのは  
「いやいや、そもそもその左派のデフレ不況って言葉も  
右派の推進するアベノミクスも全部  
原因と結果逆転させてる理論でしょ。

右派も左派も両方間違っており、両方とも統制経済を  
志向してるのだから本質的に両者とも左派で

嘘である」

っていう突っ込みがちゃんと出てこなかったところである  
と言えると思います。

それで上記の話は理解できない人も多いとは思いますが  
要するに、簡単に言うと日本の不況ってのは  
通貨を過剰に発行してもなくならないってことですね。

それよりは例えば日本では 個人が屋台を出して  
商売していて  
道路交通法違反なり食品衛生法でしょっぴかれまして逮捕されたり  
あとは民泊なんかを国土交通小官僚の利権のためにつぶす  
ということが行われてるけど

こういう官僚たちの利権をまずは縮小させて自由経済を  
復活させるという政治の視点がないと経済は不況から  
脱することは不可能ですね。

ただこの辺は官僚たち役人の利権に関わる点であるから  
絶対議論されないわけですけども。

それで QE=ジャブジャブマネーというのは

実際は景気浮揚策ではなくて

リーマンショック後に組成できないアメリカ中心の

債権金融システムをなんとか復活させるためのものである

わけです。

そこでなんとか「延命」させるためのもの。

それで日銀は2014年以來ですが QE ジャブジャブマネーで

日本政府が発行する国債の大半を買占め続けてまして

今や日本の国債の総残高の約半分が日銀保有です。

そしてある意味

「しっかりと」日本の民間金融機関は

日本国債を買えなくなってまして

そこで代わりに米国債なんかのアメリカの金融商品を

買わざるを得ない状況に誘導されてるんですね。

それでアメリカなんかは QE 縮小の方向を言い出しましたが

そこで日本が代わりにこうやってアメリカの債権市場を

買い支えてくれますから

そこでFRBが自分でQE=ジャブジャブマネーを継続するのと

同じ効果が 日銀のジャブジャブマネーで保たれている

というのが今の米日間の金融状況であります。

そんでこれが日本の今の中小銀行のかわいそうなところでもあって

もう日本の中小銀行は日本国債買えずに、

また有効な資金貸出先もないですから、

高リスクの危ない投資を増やしていく

しかありませんで、

もしくは業務内容を縮小して潰れていくか統合していくか

の状況に追い込まれてますよね。

これからだから日本の地方銀行はどうしても

長期的に追い込まれます。

ただ「短期的には」これは日本政府や官僚たちにとって

日銀のQE継続は「おいしい」わけです。

どういふことかという

日本国債の利回りはゼロ前後に下がって

そこで巨額の財政赤字を抱えるのが日本政府ですが

そこで国債の利払い額が急減したのは事実でした。

(けど長期だと国債金利が大幅上昇して下がらなくなります。

短期金利は操作できても長期金利は操作できない、

のルール通り。

そうなるとうどうなるか？ってのを想定してるから

みんな日本の金持ちたちは金ゴールドを持ってるわけです)

それで日銀 QE=ジャブジャブマネーってのは

最近はその無から発行した円資金で

日本株の ETF も買い込んでおりまして

今やこの日本株 ETF なんかは80%が日銀保有ですよ。

すごいのが日本の上場企業の4割でこれ

日銀が10大株主の中に入ってるんですね。

ということはこれは資本主義じゃなくて社会主義なんです。

だから私はここでも右派だけじゃなくて左派に疑問を  
持っていて彼らは「資本主義の限界だ」と言う言葉が好きなんだけど

もう日本は立派に私的企業と公的部門が100%分離してる  
資本主義を放棄してまして

しっかりと国家が大企業を保有する社会主義だったり  
その次の共産主義の体制を実現してるんですね。

いわゆる官製相場というのが続いているわけですが  
これを資本主義とは言えませんし

やはり日本というのは株式市場の状況見ても社会主義  
もしくは共産主義の体制であると言える。

それで日銀が株を買い支えてますから株価は下がらず  
確かに私たち投資家は何もしなくても儲かるわけですが

そこで疑問なのはマスコミが  
「株高だから景気が良いのだ」と宣伝することです。

上の原因と結果の話でして

本来の株高というのは社会の中で原因として

好景気があって

強烈な、特に若い人々の需要があって、そこで結果として

企業の商品やサービスが

購入されて それで企業も利益が上がって株があがっていく

わけです。

日本の場合は単純に 需要は非常に限られているのですが、

なので 実需からの株高はほぼ起こっていないわけで

それよりはただ 日銀のジャブジャブマネーが入って(原因)

結果として株高が起こってるだけなんですけどね、

これを好景気だから株高なんだ～～

とやってる日本のマスコミのプロパガンダの怖さってのは

ありますよね。

個人的には私は実際には株の含み益がずいぶん出ており

まさにこのジャブジャブマネーの恩恵を受けてるわけですが

ただそこで好景気だから、なんて信じてなくて、

むしろそんなの信じてる投資家はいないんじゃないかな？

とも思います。

今株なりで儲かってる投資家たちは冷酷に見ていて

「マスコミが好景気だとプロパガンダしているけど

それは単なる嘘。

実際は不景気で実需も死に体だけど

日銀がジャブジャブマネーで

買い支えてくれてるだけ。

だから投資家としては利益だすのが仕事だから

その恩恵をいただいているだけ。

ただいずれこれは本来の需給バランスと乖離してるから

「そこに乖離収束」しようという動きが出て

崩れることを長期想定して出口戦略を構築しておかないといけない。」

と認識してる人が多いと思います。

逆に今マスコミ報道を真に受けて

「好景気だから株を買って儲けよう」なんて人は

サラリーマンに多いんだけど

それは上記のように数年間は「持つ」かもしれませんが

おそらく2020年代前半に大体の人が退場するだろうな



なんて私は結構冷酷にその辺はシナリオ想定してますね。

それで今の状況だと、日銀の QE ジャブジャブマネーのカネが  
日本株の最大の買い手になっております。

日銀は今回の政策会合で QE で買う株式 ETF 対象を  
日経225から TOPIX に移していくと発表してます。

ここで日本のマスコミなんかは「この変更でどれだけ株が上下するか」  
を騒いでますが

まさにこれは社会主義国の成れの果てでありまして  
これ自体日銀の買い支えで市場トレンドが形成されてるのを  
認めてるようなものですよね。

日銀が株を買うのをやめたらそれはいずれ大幅下落する  
のを暗に認めてる言論がマスコミでも増えてる。

もし「マスコミが言うように本当に日本が好景気ならば」  
ですけど

強烈な需要がそこに発生して企業利益を支えますから

そこで日銀が ETF やらで株を大量に支えなくても株価が

上がるんですね。

株を大量に買い支えなくても株が上がるなら

わざわざ ETF やらを大量に買い込む必要がない。

マスコミなんかはだからダブルスタンダードになってることに

たぶん気づいていないんですけど

日銀の動きに株式市場が上下に

翻弄されるってのを暗に認めるのは

すなわち日本が不景気で政府の買い支えでしか市場価格が

上がる要因がないって認めてしまってるようなものですが

ただ彼らはその矛盾に気づいていないので

「日本の景気はとても良い！！」と嘘を報道してしまってる。

ダブルスタンダードになってることにたぶん

マスコミは気づいてないんですね。

これはもう官僚たちの情報統制も上手く行っていない

ということを示していますが、

というともう近年中に大きく崩れるのも想定しておかないと

いけないということです。

それで QE ジャブジャブマネーってのは

アメリカの債権金融システムの延命が目的ですけど

そこで QE をやってきた中央銀行の中で

株を大量に買ってるのはこれ日銀だけです。

アメリカと欧州もジャブジャブマネー QE をやってきたけど

債券を買い支えていただけで株は買っていないわけで。

アメリカは企業が社債発行してそれで自社株買いを

奨励してきたわけで

自社株買いが NY ダウなんかの最大要因です。

これもあまり報道されてませんがトランプ大統領の

法人減税っていうのはよくみると その分の減税で浮いた

資金の多くは給与増ではなくて 自社株買いに使われてますから

だからそれがアメリカの株価押し上げ要因となってる。

このためアメリカなんかだと FRB が株を買い支えなくても良い

ような構造になってますよね。

それでアメリカと日本では株価上昇の原因が少しばかり

上記のように違いはあれど、

資金が意図的に注入されて株が上がってるわけでした

それで「好景気だ」とされてるわけです。

ただ実際好景気かどうかは最近のアメリカ人や日本人の

貧困具合見れば分かりそうなものですが

そういう意味で 生活していてでの直感のほうが

経済の捉え方としては重要だなと最近本当に思います。

ミクロの生活実感は実際はマクロの経済を反映してるもんで

それを否定するために合成の誤謬ってのが

教えられるんだけど

実際は、この民衆の実際のミクロの生活観から

来る経済観が正しいでしょう。

今はそれが表に出ないように情報統制されてるけど

その統制された価格というのも歴史を見れば

自由市場の調整機能が働いて

価格をその民衆の本来の

需給バランスに収束させるものですから、

やはり今儲かっているも

近年の大暴落ってのはシナリオ想定しながらやっていきたい

ところですね。

ということで2020年代なんかの前半あたりは

金地金というのがすごい重要な投資対象として注目されるのは

どうも間違いないですが

マスコミの表面的なプロパガンダに洗脳されて

大損しないように気をつける、

大きく長期で負けないように 気を引き締めるのは

大事ですね！

それでは！

ゆう

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

狂人レベルの「熱い億トレーダー」  
野田さん×ゆうの対談音声1本目を  
公開します！！

直リンクの音声です！（音出ます）

⇒ [http://yuhfx1.com/onsei/taidan/nodashiki\\_fx1.mp3](http://yuhfx1.com/onsei/taidan/nodashiki_fx1.mp3)

（スマートフォンでも聞けます♪）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆